

脳梗塞

脳梗塞は、心筋梗塞に比べ死に至る率は低いものの、言語障害や半身不随などの後遺症が残り、車椅子生活や寝たきりの状態になることが多い疾患です。発症には動脈硬化が深く関わっているため、動脈硬化が進行している人、高血圧、高脂血症、糖尿病の患者ほど、脳梗塞を起こしやすいと言われています。脳梗塞には、脳の太い血管が詰まるアテローム血栓性脳梗塞、脳の細い血管が詰まるラクナ梗塞、心臓疾患が関係する心原性脳梗塞などがあります。

脳梗塞は前触れなく起こると思われがちですが、前兆として一過性の手足のしびれやひきつれ、視力の低下や片目が見えない、二重に見えるといった視覚障害、ろれつが回らなくなるなどの症状が繰り返して現れることもあります。一時的な症状で回復しても脳梗塞や他の疾患が潜んでいる場合がありますので、このような症状が現れた際にはすぐに病院を受診してください。また、症状が徐々に悪化するものや、小さな梗塞によって身体症状よりも、うつ症状や感情がコントロールできなくなるなどの精神症状を来すものなど、一般的に考えられている脳梗塞とは異なるタイプもありますので、通常とは異なる症状に気づいたら早めの受診が必要です。

漢方処方では血管障害の後遺症に応用されるものに、心身の機能が低下して意識障害を来したものに用いる開竅薬(牛黄、麝香など)が配合された牛黄清心丸、気血を巡らせることによって多くの病態に対応する続命湯などがあります。現在、日本で用いられている牛黄清心丸は入手が困難となった麝香をシベットに変更するなど、原方から生薬の加減を行ったものとなっています。



今日の漢方処方..... 牛黄清心丸

「太平惠民和剂局方」に記載されている牛黄清心丸を原方とし、本来の中風治療に加えて鎮静、降圧、滋養強壮などの作用を持つように構成生薬の加減を行った処方です。病中病後の体力回復、精神や肉体疲労の改善、胃腸の不調などにすばやく効果を現します。また、高血圧の随伴症状、動悸やめまい、脳血管障害の後遺症などにも応用されます。

牛黄清心丸の構成生薬

ゴ	オウ	シベット	レイヨウ
牛	黄	シベット	羚羊角
ニ	ジン	ボウ	フウ
人	参	防	風
トウ	キ	セン	キュウ
当	帰	川	芍
カン	ゾウ		薬
甘	草		

● 牛 黄 ●

牛黄はウシの胆嚢に生じる結石で、およそ 1000 頭に 1 頭の割合でしか得られないと言われ、その希少性から非常に高価な生薬です。日本薬局方・中華人民共和国薬典ともに記載されています。『神農本草経』の上品に分類され、長期にわたって服用しても身体に害はなく、新陳代謝を高め、元気を増して老化を遅らせる不老長寿の薬とされています。性味



は甘涼であり、清心、開竅、涼肝、清熱解毒などの薬能を持ち、心、肝の熱をさします。主成分はコール酸、デオキシコール酸、タウロコール酸、タウリンなどで、これらが豊富にかつバランスよく含まれています。造血作用、強心作用、利胆作用、脳保護作用、解熱作用などがあり、六神丸、牛黄清心丸、人參牛黄散などに配合されています。